

教育長日記 (平成25年4月15日)

# 青い空に浮かぶ白い雲27

—「わら」をもつかむ思い— 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

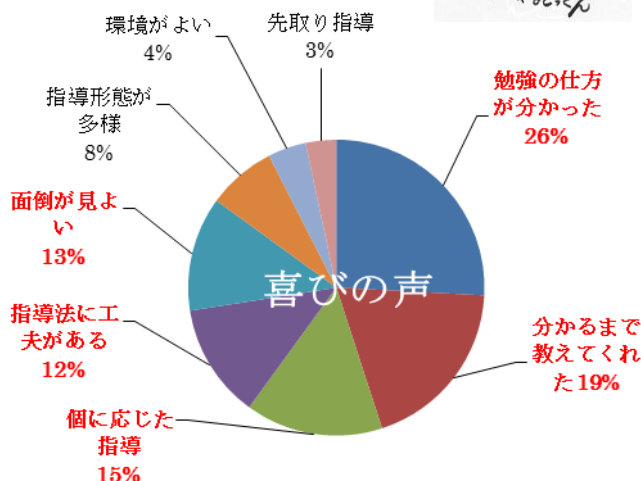


(今日の言葉) 水滴も石穿つ (うがつ) (洪 自誠 『菜根 譚』)

## 学習塾10社の春のチラシから学ぶ

お待たせしました、26号で「つづく」などと気をもたせる書き方をして終わりましたが、今回お約束通り「塾のチラシから学ぶ」にわか調査の結果と考察(?)をお届けします。

私は、塾生の生の言葉を拾い出し、8つの項目に分類しました。調査後に分類したためやや強引にその項目に詰め込んだところもありますが、川底の砂の中から「砂金」が見つかるかと思いやったことです。ですのでそこは大目に見てください。



### 「勉強の仕方が分かった」の項目にある塾生の声 (分かりやすくするため手を加えたものも含まれています)

<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を定めてから学習を開始した</li> <li>目標を設定した</li> <li>まず勉強の仕方を指導してくれた</li> <li>勉強の仕方がよく分かった</li> <li>勉強法の指導をしてくれた</li> <li>勉強方法の指導があった</li> <li>勉強法の指導を受けた</li> <li>学習の仕方へのアドバイスがあった</li> <li>家庭学習ができるように指導を受けた</li> <li>自宅学習の進め方を指導してくれた</li> <li>自ら学ぶ力を育ててくれた</li> <li>学習計画のアドバイスがあった</li> <li>学習計画を立てて学習した</li> <li>学習スケジュールを立てた</li> <li>塾での授業、家での復習を一つの流れとして体系化</li> <li>ノートの取り方が分かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終了までの目標時間を決めて学習した</li> <li>学習習慣のための日割の宿題</li> <li>鉛筆でノート学習をするように指導を受けた</li> <li>プリントを使い自学自習できるようになった</li> <li>対策勉強会を開いてくれた</li> <li>指導報告書(理解度、宿題)を使った</li> <li>宿題の目的を共有した</li> <li>春は心機一転、学ぶチャンスと勇気づけられた</li> <li>仲間と刺激し合って学べた</li> <li>よきライバルがいた</li> <li>正しい生活習慣が身についた</li> <li>今日しなければならぬことの指導を受けた</li> <li>分かった体験の繰り返しから学習習慣が定着した</li> <li>学習習慣や意欲や集中力の高め方を知った</li> <li>反復練習の効果が分かった</li> </ul>
--	--

にわか調査の結果をまとめると上記のようになりました。

受講生の言葉の中で最も多く挙げられていたものは、なんと「勉強の仕方」の指導を受けることができたことです。家では「学校でしっかり勉強してきなさい」、学校では「家に帰って1時間は勉強しよう」と言われても、子供たちは、何をどうすればよいのか「勉強の仕方」がよく分からなかったのかもしれない。塾生が「勉強の仕方」を覚えてもらった喜びをこんなにたくさん挙げているとは予想もしていませんでした。

残念ながら「勉強の仕方」の具体的な方法はチラシの中には記されていません。そこから先は企業秘密?? 私たち教育委員会や学校、そして家庭が知恵を絞って考えることだと思いました。また、具体的な何かを学校や家庭で用意することによって、子供たちは家庭での自学自習にも食いついてくるかもしれないと思いました。